

児童の権利に関する条約

児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）は、18歳未満を「児童」と定義し、国際人権規約において定められている権利を児童について詳述し、児童の権利の尊重及び確保の観点から必要となる詳細かつ具体的な事項を規定したものです。1989年の第44回国連総会において採択され、1990年に発効し、2019年（令和元年）で30周年を迎えました。日本は1994年4月に批准し、同年5月より効力が発生しています。



◆◆◆ 児童の権利に関する条約（前文・第1部より） ◆◆◆

前文

第1部

第1条 子どもの定義

第2条 差別の禁止

第3条 子どもにもっともよいことを

第4条 国の義務

第5条 親の指導を尊重

第6条 生きる権利・育つ権利

第7条 名前・国籍をもつ権利

第8条 名前・国籍・家族関係を守る

第9条 親と引き離されない権利

第10条 別々の国にいる親と会える権利

第11条 よその国に連れさられない権利

第12条 意見を表す権利

第13条 表現の自由

第14条 思想・良心・宗教の自由

第15条 結社・集会の自由

第16条 プライバシー・名誉は守られる

第17条 適切な情報の入手

第18条 子どもの養育はまず親に責任

第19条 暴力などからの保護

第20条 家庭を奪われた子どもの保護

第21条 養子縁組

第22条 難民の子ども

第23条 障がいのある子ども

第24条 健康・医療への権利

第25条 施設に入っている子ども

第26条 社会保障を受ける権利

第27条 生活水準の確保

第28条 教育を受ける権利

第29条 教育の目的

第30条 少数民族・先住民の子ども

第31条 休み、遊ぶ権利

第32条 経済的搾取・有害な労働からの保護

第33条 麻薬・覚せい剤などからの保護

第34条 性的搾取からの保護

第35条 誘拐・売買からの保護

第36条 あらゆる搾取からの保護

第37条 拷問・死刑の禁止

第38条 戦争からの保護

第39条 被害にあった子どもを守る

第40条 子どもに関する司法

第41条 子どもにとってもっともよい法律